

野沢温泉小学校保護者の皆様

野沢温泉小学校長 市村一彦

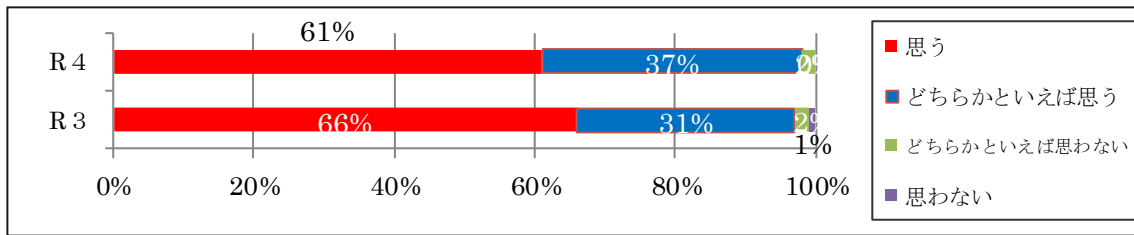
令和4年度 学園・学校評価のまとめについて

早春の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育活動につきましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

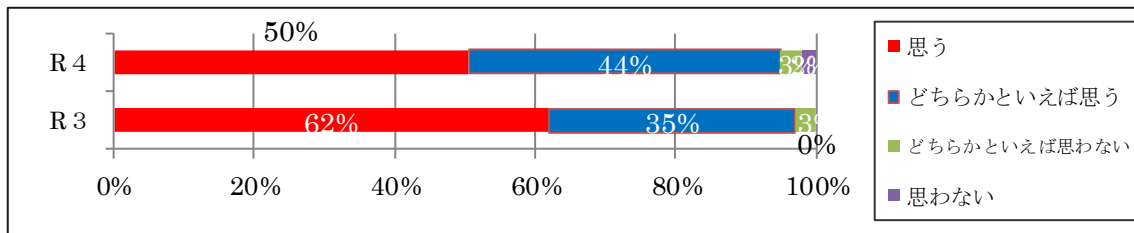
2学期末にご協力いただいた学園・学校評価アンケートのまとめについて項目ごとに結果と考察をお伝えします。いただいたご意見を今後の本校、本学園の教育に活かして参りたいと思います。

学園評価アンケート【保護者】

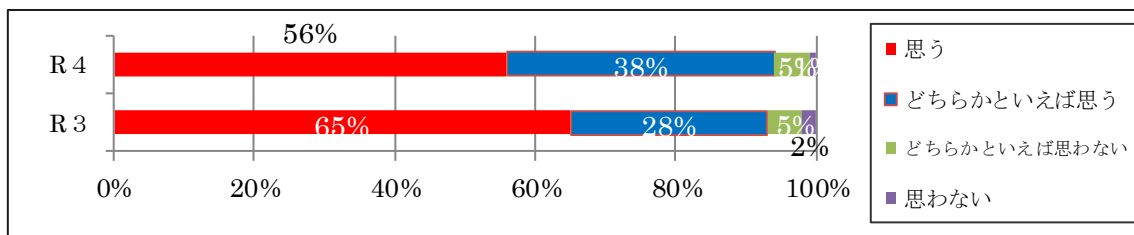
①「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは、地域のよさを実感していると思いますか。【回答総数 123】



②「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。【回答総数 124】



③学校のスキー授業を通して、子どもたちはスキーを楽しむとともに、スキー技能やゲレンデマナーの素地を学んでいると思いますか。【回答総数 124】



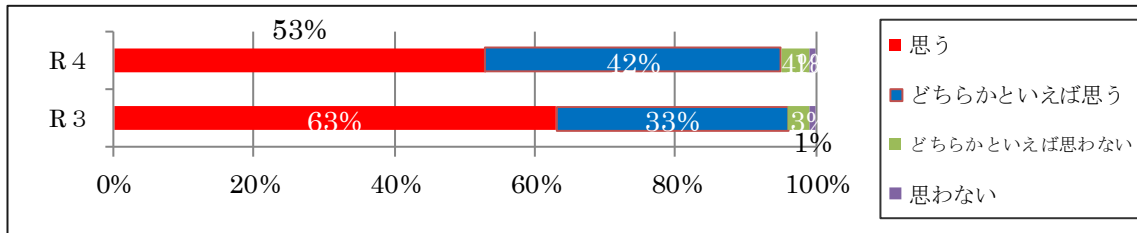
お祭りや野沢菜など地域の文化に触れる活動の良さについてご意見をいただきました。今後も、村の文化と共に、そこに関わる人々の思いにも触れて学習していきたいと思ひます。

英語学習においては、どの学年も ALT のネイティブな発音に触れながら、会話やゲームを通して音声でのやりとりの力を向上させています。また、休み時間の後に5分間のイングリッシュタイムを設けて、毎日英語に触れる取り組みをしています。保護者も英語を学ばなければというご意見もありました。今後は、子どもたちの英語での学習活動をさらに充実させると共に、保護者の皆様にも様子をお伝えしていきたいと思ひます。

スキー学習については、苦手なお子さんが負担に感じているのではないかとご心配の声がありました。そのようなお子さんも不安な思いをせずにスキーを楽しめるように、技能レベルに合わせた指導内容を今後も検討していきます。

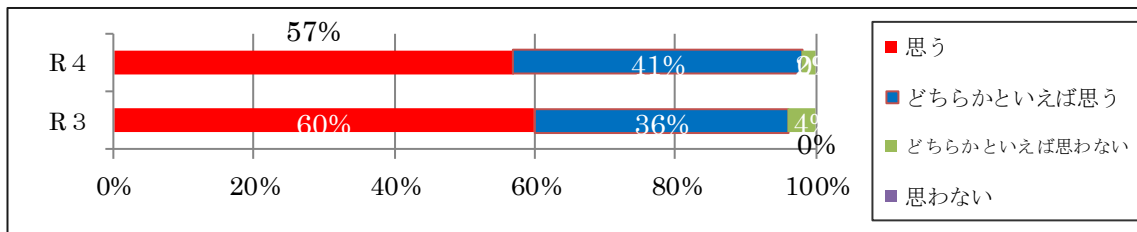
学校評価アンケート【保護者】

- ① 学校は、教育方針や学級の様子等をおたよりや懇談会等で知らせたり、家庭と連絡をきめ細かく行ったりしていますか。【回答総数 124】



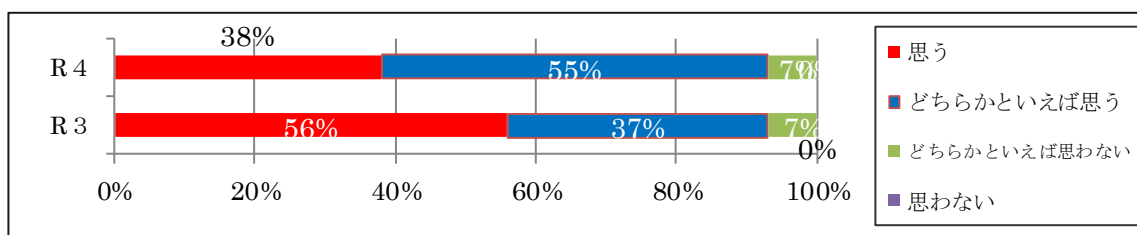
今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（95%）。来年度も、学校の様子を「学年だより」「広報のさわおんせん」「山毛櫨の子 野沢温泉学園だより」「授業参観・懇談会」などでお知らせしていきます。学級の取り組みや問題などがあれば、保護者も協力したいというありがたいご意見をいただきました。保護者の皆様と情報を共有しながら、ご家庭と学校で子どもたちの成長を見守ってきたいと思います。

- ② 学校は、授業参観や行事等で、保護者や地域の方々が参加や参観をしやすいような開放的な感じがしますか。【回答総数 124】



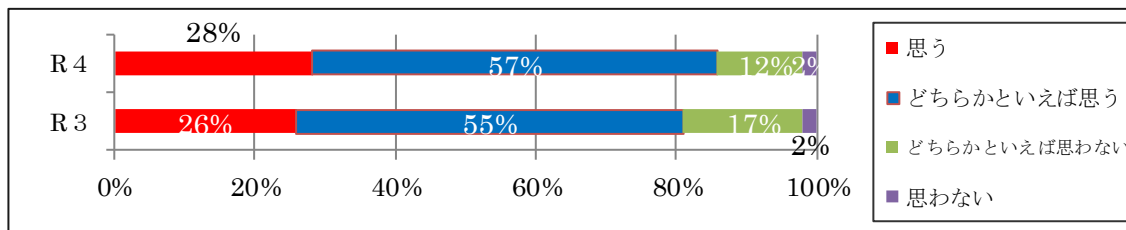
今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（98%）。保護者の皆様には、授業参観などの際に感染症対策にご協力いただきました。今年度は参観日の参観人数をコロナの感染状況を見ながら調整し、より多くの保護者の皆様に参観していただくことができました。また、音楽会では全校を2部に分けて開催することで、保護者の皆様に体育館で鑑賞いただきました。来年度も、感染症対策を行いながら、多くの皆様に子どもたちの様子を見ていただけるように努めていきます。

- ③ 学校は、施設設備などの環境整備、登下校や休み中の生活の仕方等で、安全に配慮していますか。【回答総数 123】



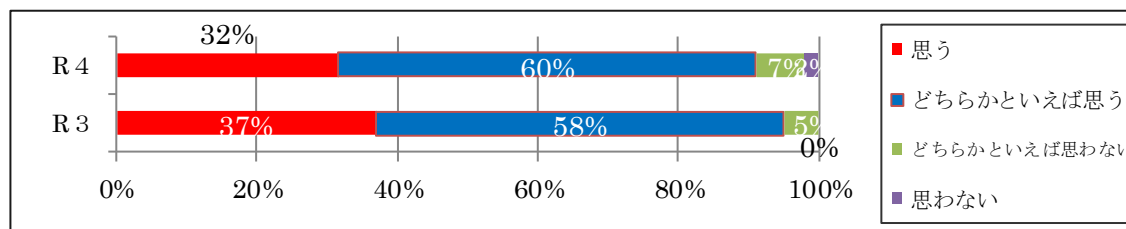
肯定的な回答は93%で変わりませんが、「そう思う」が18ポイント下がりました。引き続き安全面への配慮について、改めて感染症対策に慎重な対応をしながら、施設の安全点検や通学路の巡視などに継続して取り組んでいきます。保護者の方や地域の方から寄せられた子どもたちへの安全面でのご意見（交通ルールの徹底、不審者対応、雪道の安全など）は、今後も速やかに対応し、子どもたちへも指導していきます。

- ④ 学校は、いじめや不登校等の発生を早期にとらえ対応し、子どもが安心して登校できるように努めていますか。【回答総数 122】



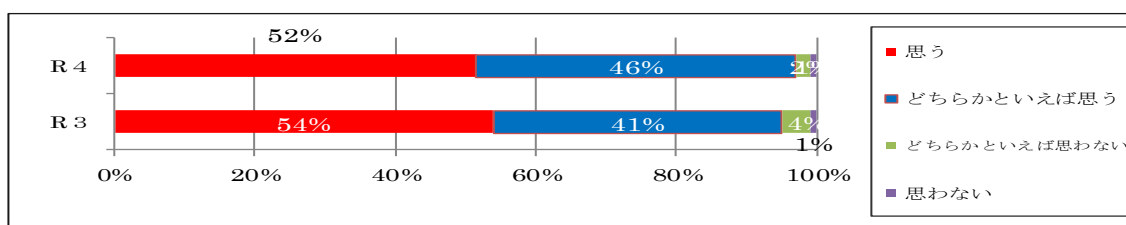
いじめ・不登校への早期対応について、肯定的な回答が、R2年度78%、R3年度81%、R4年度85%と、徐々に増えています。とはいえ、「そうは思わない」という回答が一定数ある事実を真摯に受け止め、全職員がチームとなって対応し、子どもや保護者の皆様と共に解決に向かって進めていけるよう、努めて参ります。そのために、いじめや不登校について改善を図っていけるよう職員研修を充実させていきます。また、保護者の皆様との連絡も密にとり、子どもや保護者の皆様の思いを理解し、安全安心の学校づくりをしていくよう対応していきます。

- ⑤ 学校は、命を大切にできる心や人権に関する課題について、学ばせようとしていますか。【回答総数 121】



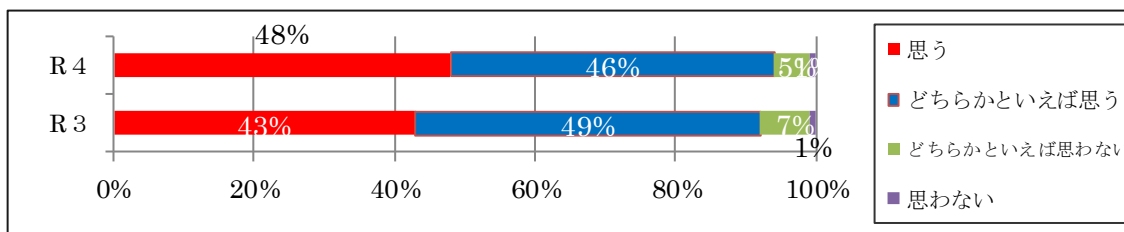
昨年に比べて、肯定的な回答が3ポイント下がり、「思わない」と回答したご家庭もありました。日々の学習の中で扱っている「命や人権」について、子どもたちの心に届く学習となるように、今後も工夫・研究していきます。

- ⑥ 学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。(学級担任以外も含めて)【回答総数 124】



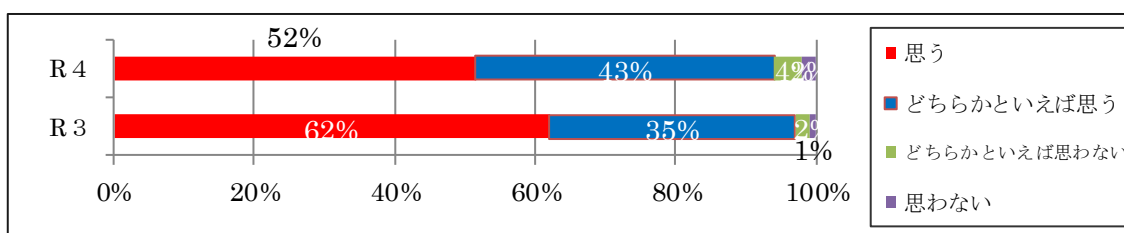
肯定的な回答がR2年度91%、R3年度95%、R4年度98%と徐々に増えています。保護者の皆様の学校へのご期待や願いを真摯に受け止め、今後も地域と共にある学校を目指して参ります。一方で、保護者の皆様や地域の皆様の思いは多様であることを理解し、より多くの皆様の声を伺い、よりよい学校であるために校内でも常に議論していきます。

⑦ 学校職員は、お子さんの話を聞いたり、お子さんと遊んだりして、お子さんを理解し、適切な指導、評価をしていますか。【回答総数 124】



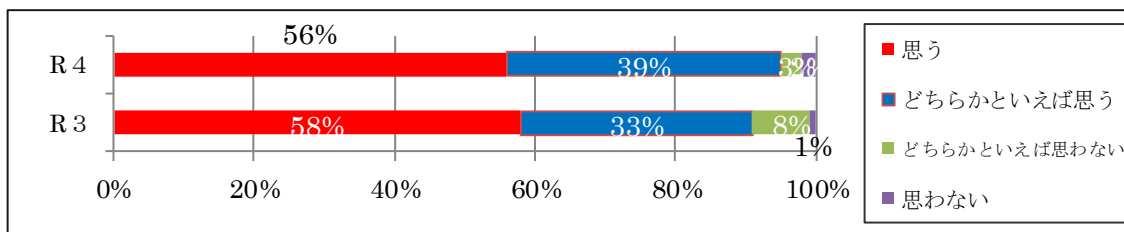
肯定的な回答が R2 年度 85%、R3 年度 92%、R4 年度 94%と徐々に増えています。本校では、毎週水曜日の掃除の時間を「遊びの時間」と決め、職員も一緒に子どもたちと遊んでいます。今後も、子どもたちと共に活動する学習や遊びの時間を大切にすることで子どもたちを理解し、適切な指導ができるよう努めます。

⑧ 学校職員は、わかりやすい授業をしていますか。【回答総数 124】



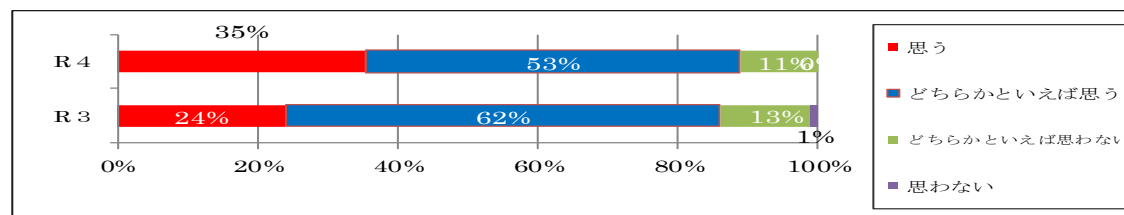
全体的には、昨年同様ほぼ肯定的な回答をいただいたといえますが、昨年度に比べてやや評価が下がりました。学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切に、子どもたちみんなで追究できる授業を目指します。また、一人一人の学ぶ様子にも目を向け、学習支援員とも協力しながら丁寧に指導していきます。

⑨ お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。【回答総数 124】



肯定的な回答が 95%で昨年よりも 4 ポイント増えました。しかしながら、「どちらかといえば思わない・思わない」と回答したご家庭があるということを受止め、今後も職員全員で連携し、日々の子どもの表情やつぶやきを注視していきます。さらに、保護者の方から情報を密に得ること、SC や村相談員とも連携していくことで、悩みがあったり、学校生活に居づらさを感じたりしている子どもへの対応をしていきます。また、学校がもっと楽しくなるように、授業改善にも取り組んでいきます。

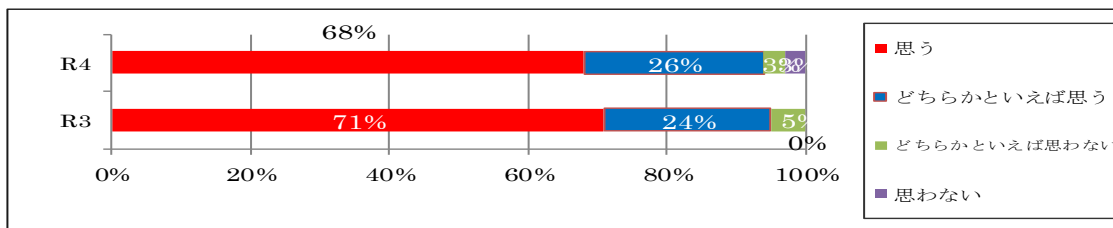
⑩ 野沢温泉小学校の子ども達は、場に応じたマナーやあいさつができますか。【回答総数 124】



肯定的な回答が 2 ポイント上がりました。毎年、児童会では「あいさつ」について取り組んできました。今後も子どもたちと一緒にあいさつの大切さについて考え、実践できるように指導していきます。また、教職員も率先してあいさつをし、子どもたちの良い手本となるように努めます。

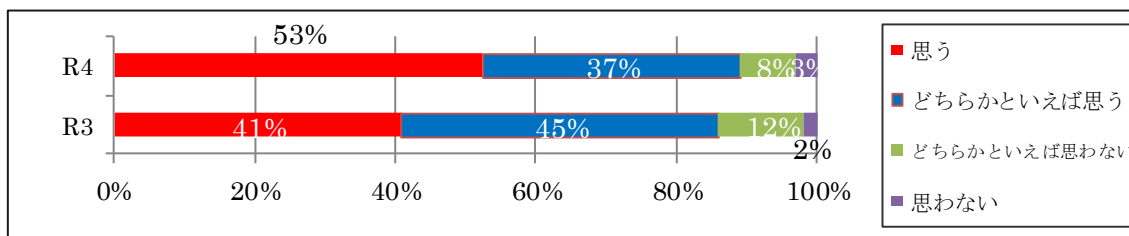
学園評価アンケート【児童】

①【ふるさと学習】 村のことを調べたり、村の人に教えてもらったり、村に出かけたりして、野沢温泉村のいいところがよくわかった。



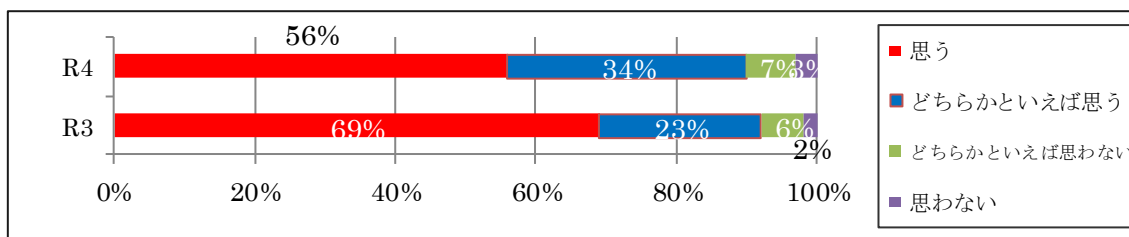
「ふるさと学習」は、「思う・どちらかといえば思う」が昨年度とほぼ同じポイントでした。一方、今年度は、「思わない」と回答した児童が3%いました。村の様々な場所へ出かけて体験学習をする機会ではできるだけ増やしてきましたが、今後は、体験を通して「村の人々の思いに触れること」を大切にしながらさらに学習を進めて参ります。

②【英語学習】外国の人や村の人、友だちや先生などと、英語を使ったやり取りを楽しむことができた。



ALT との交流を通して英語でのコミュニケーションを楽しんでいる子どもたちです。「思う・どちらかといえば思う」が昨年度よりも増加しました。しかしながら、英語学習を苦手とする子どもが一定数いることを考え、毎日のイングリッシュタイム（休み時間の後の5分間）をさらに工夫して、コミュニケーションの楽しさを感じられるようにしていきます。

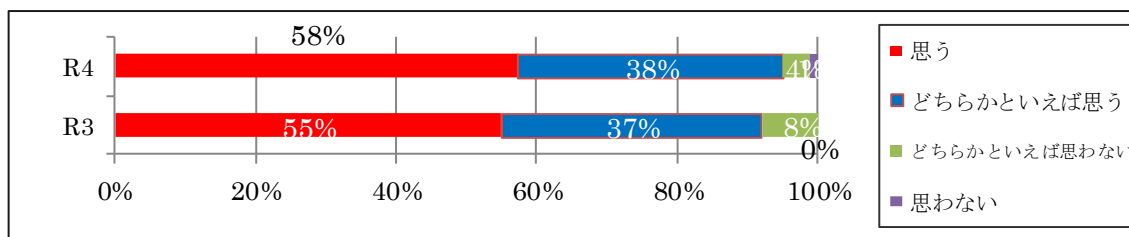
③【スキー学習】スキーを楽しみながら、スキーも上手になってきている。



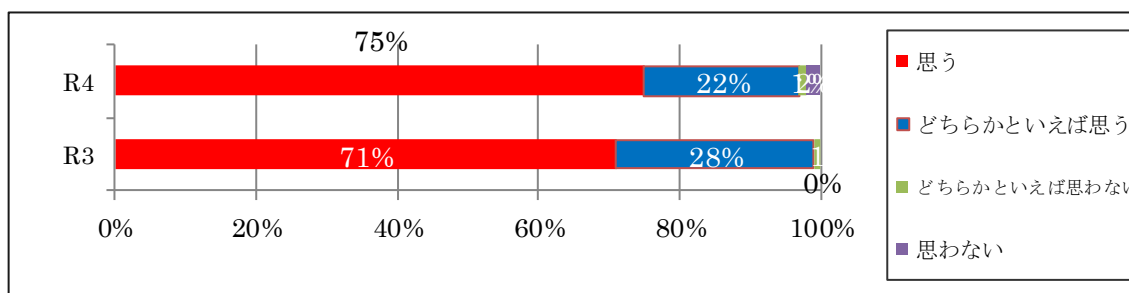
地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、スキーを楽しんでいる子どもたちが90%います。スキーを楽しみながら技能も高めていこうとする子どもたちです。一方、スキーに対して苦手意識のある児童もいることを忘れずに、技能レベルに合わせた指導内容を今後も検討していきます。

学校評価アンケート【児童】

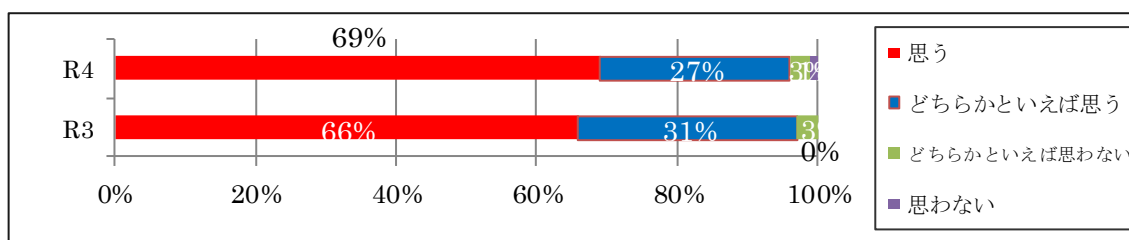
- ① お家の人は、学校からのおたよりなどで、学校の行事や学級の活動の様子をよく知っている。



- ② 授業参観や行事などには、お家の人や村の人がたくさん来てくれている。

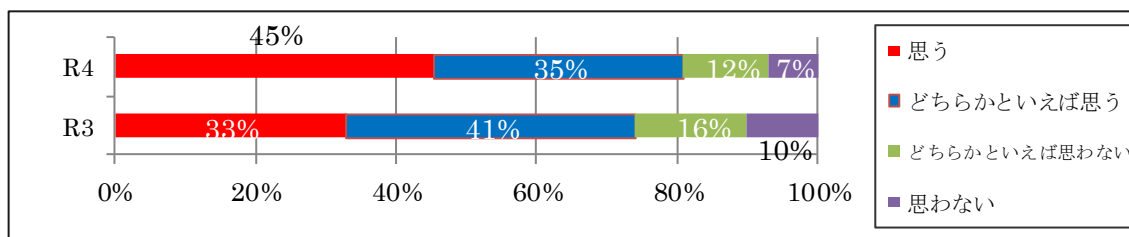


- ③ 学校の建物や用具などに危険なところは無く、また登下校や休み中の生活でも安全に気を付けている。



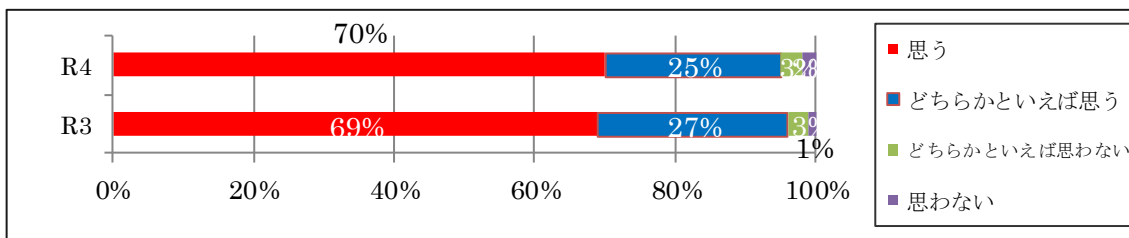
引き続き、学校の様子をご家庭や地域の皆様にお伝えできるよう、努力いたします。また、校内外や下校中の安全に気をつけ、子どもたちのために取り組んでまいります。①②③

- ④ いじめがあったり、学校に行きたくなかったり、その他のことで悩みなどがあつたりするときは、学校の先生（担任先生以外の先生も含む）に相談できる。

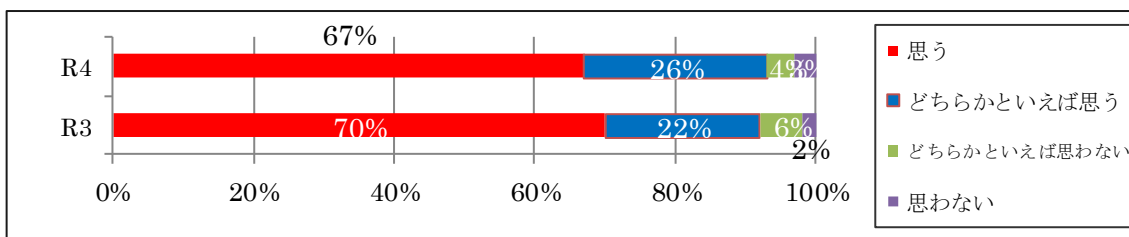


「思う・どちらかといえば思う」がR2年度66%、R3年度74%、R4年度80%でした。学校は、徐々に子どもたちにとって相談しやすい環境になっているようです。一方で、19%の子どもたちが、何か困ったことがあった時に学校職員に相談しようと思わないと感じています。「相談週間」のような「1対1で話す時間」を積極的に活用したり、教科担任や養護教諭などいろいろな先生に相談できる機会を作ったりして、子どもからの声に真摯な対応をして「先生に相談しよう」と思えるような関係性を築いていきます。また、悩みや困りごとに気づくための取り組みやいじめの芽を見抜いて対応する取り組みを行っていきます。

⑤ 道徳などで、命の大切さや、みんなで仲良くすることの大切さなどについて学んでいる。

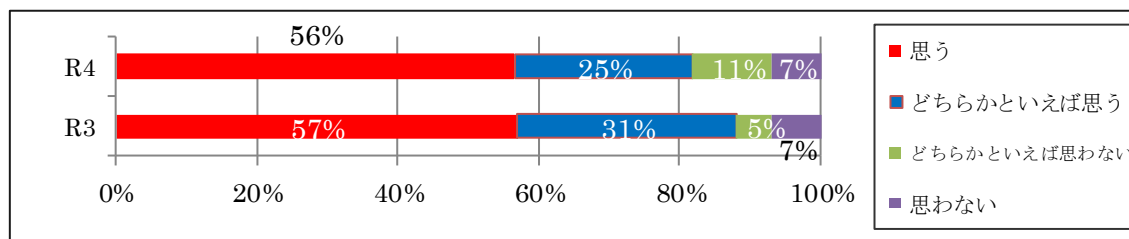


⑥ 授業はわかりやすい。もしわからないところがあっても、質問すれば先生や友だちが教えてくれる。



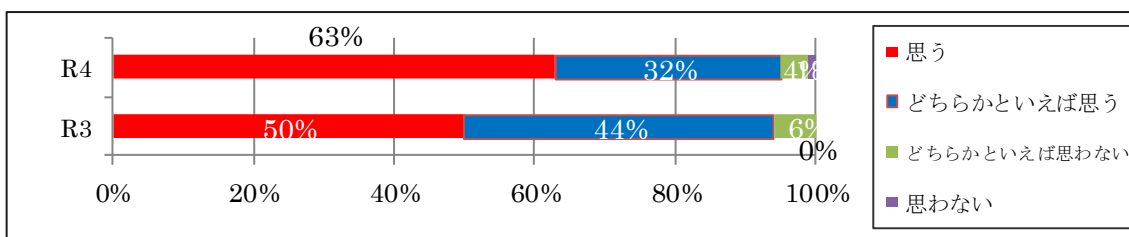
道徳を含めて、多くの子どもたちが「思う・どちらかといえば思う」の回答をしています。今後も、学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切に、子どもたちみんなで追究できる授業を目指します。⑤⑥

⑦ 学校へ行くのが楽しい。



昨年度に比べて、「思う・どちらかといえば思う」の回答が7ポイント下がり、18%の子どもたちが否定的な回答をしています。子どもたち一人一人と関わりをもちながら、保護者アンケート⑨のように対応し、子どもの願いや悩みに寄り添っていききたいと思います。

⑧ 友だちや先生、村の人などに、あいさつをきちんとしている。



昨年度に比べ「思う・どちらかといえば思う」はほぼ同数ですが「思う」が13ポイント増えました。児童会が中心となってあいさつ運動を進めてきた成果とも言えます。今後も、子どもたちと共に、学級内のあいさつや児童会活動のあいさつ運動等に取り組んでいきます。